

法学部キャリアガイダンス実施教員に関するアンケート結果のとりまとめ

法学部キャリア委員 矢嶋美都子

1. キャリアデザインガイド1の内容と感想について

良い評価 見た目もよく分かり易く、具体的で楽しく、内容豊富で説明が丁寧。

職業の種類を知る、就職までの流れがつかめる。グループ学習がよい。

先輩の就職体験が有意義(さらに増やすべし)。

改善点 総花的、盛り込みすぎ、教員への配布時期をオリゼミ・基礎演習開始時期に。

2. キャリアデザインガイド1の活用状況について

活用している 3名。授業の空き時間、オリゼミ、基礎演習の中で。

活用していない9名。

今後活用したい10名。

3. 本学のキャリア教育に関する理解度について

5は五名、4は六名、3は七名、2は一名、1は二名、無回答一名。

約半数、実はほとんどの先生がキャリア教育という概念を理解してない状況です。理由は彼らの殆どが就職活動を経験したことがなく、政府機関はもとより一般企業にも勤めた経験がないので、現在の学生の就職活動の実態は想像外なのです。私自身も同じですからよく分かります。キャリアセンターの職員の方の話を毎年学生と一緒に聞いて啓蒙されつつあります。私の学生時代にはキャリア教育というものはありませんでしたから。

だからこそ、回答者の多くはキャリア教育の必要性を痛感しています。

4. 本学のキャリア教育に関する今後の具体的課題について

(1) 学生に自覚、意欲をもたせること、学生の意識改革、積極性をひきだすこと。

(2) 先輩の話を聞かせ、実例を多く紹介し、卒業生・OB会を活用する。

5. 「教職員一体」でキャリア教育に取り組む際の「教員」「職員」の役割分担について

ほとんどコメントがありません。企業の人事担当の人、先輩、などを呼んで話を聞く。

ゼミのOBを活用する。実務経験のある先生に話をしてもらう。企業の人事担当経験

者を職員スタッフに採用する、などです。

6. キャリアガイダンスに参加しての印象や感想について

良い評価 有意義だ、実施することは重要だ、グループ学習、ディスカッション、人前での発表経験は学生の自主性、積極性を高めて良い。センター職員に熱意がありよい印象。

改善点 実施以前に学生に働く意義を自覚させ、意欲をたかめるべき。内容が幼稚だ。実施時期に再考を。「起業」者へのガイドも。学生の進路は様々なので、必須にする必要があるのか。